

令和5年千葉市教育委員会会議
第1回臨時会会議録

千葉市教育委員会

令和5年千葉市教育委員会会議第1回臨時会会議録

日時 令和5年3月3日(金)
午後3時00分開会
午後3時19分閉会
場所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 磯野 和美
委 員 小西 朱見
委 員 藤川 大祐
委 員 高津 乙郎
委 員 大山 尋美

出席職員 教 育 次 長 宮本 寿正 総 務 課 長 山田 利雄
教 育 総 務 部 長 香取 徹哉 教 育 職 員 課 長 吉田 悦子
学 校 教 育 部 長 鶴岡 克彦 教 育 指 導 課 長 樋口 雅也
生 涯 学 習 部 長 佐々木敏春 総 務 課 総 括 主 幹 桑田 秀幸

書 記 総務課総務班主査 猪飼 恭平 総務課主任主事 中台陽一郎

- 1 開会
磯野教育長より開会を宣言
- 2 会議の成立
過半数の委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
磯野教育長より大山委員を指名
- 4 会期の決定
令和5年3月3日（1日間）とすることで全委員異議なく決定
- 5 会議録の承認
令和4年第12回定例会会議録、令和5年第1回定例会会議録を全委員異議なく承認
- 6 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 7 非公開審議の決定
議案第10号を非公開審議とする旨決定
- 8 議事の概要
 - (1) 報告事項
報告事項(1) 中学校社会科副読本「伸びゆく千葉県」の改称について
樋口教育指導課長より報告があった。
 - (2) 議決事項
議案第10号 職員の人事について
吉田教育職員課長より説明があった後、全委員異議なく、原案どおり可決した。
 - (3) 発言の要旨
報告事項(1) 中学校社会科副読本「伸びゆく千葉県」の改称について
磯野教育長 報告事項(1)「中学校社会科副読本「伸びゆく千葉県」の改称について」、教育指導課長、説明をお願いします。
樋口教育指導課長 中学校社会科副読本「伸びゆく千葉県」の改称について、ご報告させていただきます。
「1 改称の理由」ですが、千葉県基本計画や、第3次学校教育推進計画の策定を契機に、本市のさらなる発展と中学生の健全な成長を願い、よりふさわしい名称に変更するためです。
「2 改称の考え方」ですが、千葉県基本計画や、第3次学校教育推進計画における施策に基づき、「未来」をキーワードに検

討を進めて参りました。

「3 新名称決定までの経緯」ですが、これまで、社会科関係校長の協議を踏まえて、2案に絞ったのち、千葉市PTA連絡協議会、各校社会科主任、抽出校生徒へのアンケートを実施しました。その結果、市P連役員会では「未来を拓く千葉市」、社会科主任からは「未来を拓く千葉市」、抽出校生徒からは「未来を創る千葉市」が、それぞれ過半数を超えて支持されました。これらの結果を踏まえて、教育指導課としては、総合的に判断して、「未来を拓く千葉市」を最終案とし、2月の部課長会議での協議を経て、副読本の新名称を「未来を拓く千葉市」と決定しましたことを報告させていただきます。

「4 配本までのスケジュール」ですが、3月中旬に各中学校宛に通知の上、新年度より中学1年生に配付します。

以上でございます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

高津委員 この副読本は生徒が持って、色々な機会を読んだり学んだりするのでしょうか、特別活動や授業等で使う事はあるのでしょうか。

樋口教育指導課長 副読本の表紙にも、中学校社会科資料とありますので、主に、中学校社会科での活用となります。

議案第10号 職員の人事について

磯野教育長 議案第10号「職員の人事について」、教育職員課長、説明をお願いします。

吉田教育職員課長 議案第10号「職員の人事について」ですが、当該議案は令和5年3月31日付け及び同年4月1日付け千葉市立小学校、中学校、特別支援学校及び中等教育学校の校長、副校長及び教頭の管理職人事発令につきまして、千葉市教育委員会組織規則第8条第4号の規定に基づき、議決を求めるものです。

本年4月1日付けの管理職の人事発令におきましては、「令和4年度末及び令和5年度公立学校教職員人事異動方針」に基づき、特に次の事項に配慮しました。

- (1) 大幅交替期を踏まえ、特に責任感と管理能力に優れ、高い識見を有した管理職の登用に努めたこと。
- (2) 本市学校教育の安定的運営を図るために、再任用校長を継続8人、新規10人、計18人を登用したこと。
- (3) 学校のマネジメント機能の強化を図るために、昨年度に引

- き続き、配慮を要する4校で教頭を複数配置とすること。
- (4) 教育効果を高め、調和的な学校運営が行われるよう、適材適所の管理職人事を推進したこと。
 - (5) 10年後を見据えて、若手を積極的に登用したこと。
 - (6) 女性管理職の登用について、積極的に推進したこと。

なお、管理職登用にあたり、原則、同一校での昇任は行っておりません。

それでは、お手元の人事異動一覧に従いまして「1 校長の部」から説明します。

まず、3ページにあります「1 退職」ですが、「本町小学校、古川 誠一」をはじめ31人です。内訳としては、小学校20人、中学校11人であり、そのうち「星久喜小学校 植草 奈保美」をはじめ、4人の女性校長が退職となります。なお、退職校長31人の平均在職年数は、約2.5年となっております。

次に「退職・再任用校長」ですが、現「新宿小学校 校長 山下 敦史」をはじめ、9人です。再任用としての勤務は、3年が1人、2年が5人、1年が3人です。

次に4ページにあります「2 新任」ですが、現「生涯学習振興課 管理主事 木村 隆之」を若松小学校校長に昇格させるのをはじめ、計28人を昇格させたいと考えます。内訳としては、小学校17人、中学校10人、特別支援学校1人です。新任校長のうち、最年少は、現「小中台中学校 教頭 加曾利 道人」、「教育改革推進課 指導主事 藤本 朱子」の次年度●●歳、また、●●歳の校長は、現「教育指導課 指導主事 平木 恵子」をはじめ4人です。また、新任校長の平均年齢は、約55.5歳となります。

女性の登用ですが、新任校長は14人で、女性校長の全体数は56人となり、今年度より10人の増となります。なお、この人数には、管外の校長も含まれます。

次に、「3 転出」ですが、県との人事交流を終えて、現「高洲小学校 校長 宮原 尚」が市原市立ちはら台南小学校校長として転出し、新たな交流として、現「教育指導課 主任指導主事 中村 敏江」が、市原市立五所小学校校長へ赴任します。

また、「4 転入」ですが、県との人事交流を終えて現「松戸市立六実第三小学校 校長 岡田 慎司」が生浜小学校校長として、現「船橋市立芝山東小学校 校長 細野 正子」が美浜打瀬

小学校校長として帰任します。

さらに、「5 採用（管外新任）」ですが、こちらも県との人事交流で、現「八千代青少年センター 所長 清水 敦史」を稲毛中学校校長として、採用するものです。

次に5ページにあります「6 配置換」ですが、現「弁天小学校 校長 曾根 伸二」を都小学校校長に配置換えするのをはじめ、20人を配置換えします。内訳ですが、小学校14人、中学校6人です。

次に「7 再任用」ですが、新たに現「大森小学校 校長 渡邊 智之」を寒川小学校校長に再任用するのをはじめ、18人を校長として再任用します。内訳は、再任用2年目が8人、1年目が10人、また、現任校が14人、配置換えが4人となっております。

「8 配置換（学校から行政へ）」ですが、校長から教育委員会事務局に入る者です。現「小倉小学校 校長 小谷 泰也」をはじめ6人です。これらの者の平均年齢は55.5歳、6人とも、これまでに本市又は千葉県の教育委員会事務局での勤務を経験しております。

次に「9 配置換（行政から学校へ）」ですが、教育委員会から、再度、校長として学校現場に転任するのは、現「学事課 課長 栗和田 耕」を新宿小学校校長に配置換えするのをはじめ、5人です。この5人の校長相当職としての事務局在職年数は、平均3.6年となっております。

ここまでが校長の異動です。校長の異動にあたっては、学校規模や学校の状況、過去に勤務経験があり学区を熟知している学校であるか、また、研究指定校の有無や生徒指導上の課題等を勘案しながら、専門教科やこれまでの経験、実績を踏まえて適正配置に努めたところであります。また、特別支援学校については、特別支援教育に長けた校長を配置するなど、配慮したところであります。

次に、6ページ「2 副校長の部」についてですが、本年度は副校長の異動がありません。

次に、「3 教頭の部」について説明します。

まず、「1 退職」ですが、「坂月小学校 教頭 高坂 健二」、「瑞穂小学校 教頭 福村 圭子」の2人で、2人とも定年退職であります。

なお、「2 降任」ですが、「●●中学校 教頭 ●● ●●」をはじめ2名が、本人の希望により、教諭に降任します。

次に、「3 新任」ですが、現「教育センター 指導主事 出原 智博」を寒川小学校教頭に昇格させるのをはじめ、34人を昇格させたいと考えます。内訳は、小学校22人、中学校12人で、昇格者の平均年齢は46.1歳で、昨年度より0.1歳下がりました。最年少は次年度●●歳で現「スポーツ振興課主任主事 鈴木 達也」をはじめ14人です。

最年長は現「犢橋中学校 教諭 飯島 賢二」が緑が丘中学校教頭に次年度●●歳で昇格となっています。

また、女性の登用ですが、現「教育センター 指導主事 松村 順」を誉田小学校教頭に昇格させるのをはじめ4人です。

これにより、令和5年度の女性教頭は今年度の52人から7人減り、45人となります。

次に、「4 転出」ですが、県との人事交流を終えて、現「幕張東小学校 教頭 松丸 和義」が市川市立南行徳小学校に教頭として、現「泉谷小学校 教頭 門脇 年宏」が市原市教育委員会に転出し、新たな交流として、現「星久喜小学校 教頭 細田 昌伸」が浦安市立東小学校へ教頭として転出します。

また、7ページの「5 転入」ですが、県との交流を終えて、現「鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校 教頭 吉岡 裕治」が星久喜小学校教頭、現「市原市立市西小学校 教頭 清田 高史」が誉田東小学校教頭へそれぞれ帰任します。

次に「6 採用(管外新任)」ですが、県との人事交流により、「市原市立若宮小学校 教諭 國友 貴子」を更科小学校教頭として採用します。

次に、「7 配置換」ですが、現「北貝塚小学校 教頭 君島 啓徳」を新宿小学校教頭へ、現「更科中学校 教頭 鈴木 健一」を真砂中学校かがやき分校教頭へ配置換えするのをはじめ43人です。内訳は、小学校28人、中学校13人、特別支援学校2人です。

校長の配置換えと同様、経験年数、教科等の専門性、学校規模等、様々な要件を考慮して、適材適所の配置に努めるとともに、新任の教頭については、校長経験者との組み合わせ、そして、教頭経験者について、新任の校長と組み合わせるなど、校長・教頭の経験年数に応じてバランスのとれた配置となるよう

配慮したところであります。

また、校長がマネジメント能力を発揮し、複雑化・多様化した課題を抱える学校を変え、学校の教育力を向上させていくために、教頭の複数配置を行います。教頭の複数配置により学力向上等の取組みや、児童生徒の指導や保護者との関わり等をよりきめ細やかに行うことができるなど、学校運営体制や指導体制の充実が期待されるとともに、教頭や教職員の働き方改革につながったと考えております。令和5年度も、今年度に引き続き小中台小学校、都小学校、小中台中学校、山王中学校を複数配置とします。

次に、8ページにあります「8 配置換（学校から行政へ）」ですが、教頭職から教育委員会事務局へ異動する者は、現「新宿小学校、教頭 平澤 典之」をはじめ17人です。これらの者の平均年齢は51.7歳です。

「9 配置換（行政から学校へ）」ですが、教育委員会から、再度、教頭として学校現場に転任するのは、現「教育支援課 指導主事 川辺 裕子」を都小学校教頭に配置換えするのをはじめ4人となります。

最後に、管理職の推移につきましては、別表のとおりですので、ご確認ください。

以上でございます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等含め、何かありますか。

磯野教育長 私から1点だけお願いします。今回初めてのケースで、教頭職の降任というかたちで該当の方がいますけれども、先程説明があったように、管理職の若返りを図っている中で、育児等の関係で、やむを得ず降任するということもあるかと思えます。定年延長にもなりましたので、本人が望むような機会があるならば、そのような検討をすべきだと思えますので、引き続きご検討頂くように、意見を申し上げます。

吉田教育職員課長 わかりました。

磯野教育長 他にご質問等ないようですので、議案第10号「職員の人事について」を、原案どおり可決したいと考えますが、如何でしょうか。

（「はい」という声あり）

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり可決とします。

9 その他

(1) 第3回定例会は、3月15日 水曜日 午後2時からとした。

10 閉会

磯野教育長より閉会を宣言